

MS-Excel グラフで描いてみる

programed by Ken Morisawa 2009 年 1 月(開始)-2009 年 11 月 13 日.

Delphi 5j+Windows XP によるプログラム 推奨システム : Windows 95 以降の PC

プログラムの動きが重過ぎる時には、“Line always”を off にすること。

このプログラムは、Microsoft Excel グラフでの描画を可能にします。.

使い方

1 自動インストールできません。

自分の好きな名前でフォルダーを作ってください。

その中にこのプログラムを入れてください。

日本語表示希望者は、同フォルダーに「jp.doc」「jp.txt」「jp.bmp」のうち 1 つを作成後起動。

2 256 色かそれ以上のビットマップファイルを準備してください。

最適なのは Windows の基本 16 色を含む白黒画像です。

或いは、同フォルダー内に新たにビットマップファイルを作成します。

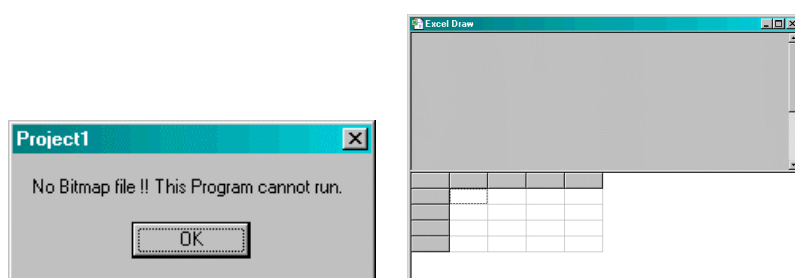
ビットマップファイルの名前は“image”でなければなりません。

ビットマップファイルのサイズは、640x480 かそれ以上。

自分で何かの絵を描いて保存。

または、何らかの好きな画像を“image.bmp”で保存しても良い。

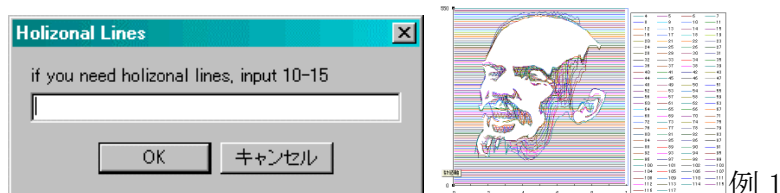
もし、“image.bmp”のファイルなしに起動すると以下のような Window がでます。



3 起動

ビットマップファイルの準備をしたら、プログラムを起動します。

最初の起動では次のような Window が現れます。



通常の絵を作りたい場合は何も入力しません。

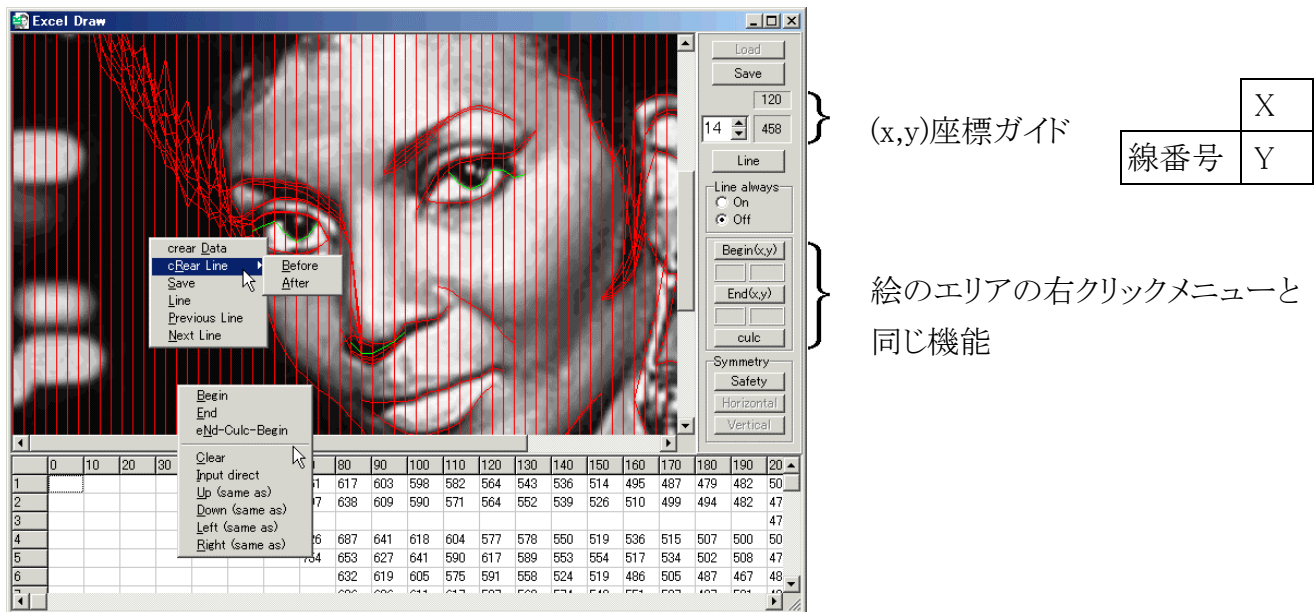
例 1 のように前面に横線で白抜きの絵を作りたい場合は、10 前後の数値を入力すると、プログラムは自動的に、絵の前面に横方向の平行線で埋め尽くします。

画像上でクリックをしてグラフのデータを作成します。

[Save]ボタンで"image.csv"ファイルを作成します。

また、プログラム終了時に自動的に保存します。

4 各機能



このプログラムには2つの右クリックメニューがあります。

1) 画像上のメニュー

マウスポインターが座標(x,y)にあると仮定します。

clear Data : あなたが入力した座標(x,y)のデータを消去。

clear Line : Before : 座標(0,y)から座標(x,y)までのデータを消去。

clear Line : After : 座標(x,y)から座標(最後の x,y) までのデータを消去。

Save : "image.csv"ファイルとしてデータを保存

Line : "always line" が off の時、線を引いてデータを確認します。

Previous line : 1 つ前の線に切り替えます。

Next line : 次の線に切り替えます。

2) セル(升目)のメニュー

** この機能を使う時には、最初に左クリックでセルを選択することが必要。

直線を引きたい時に以下の 3 つを使います。

Begin : 開始するセルを設定

End : 終了位置のセルを設定(実際には使う必要なし)

eNd culc begin : 終了位置設定、計算、開始位置設定の一まとめ

Clear : セルのデータを消去。

Input direct : セルに直接数値を入力します。

Up(same as) : 上のセルと同じ数値を入力します。

Down(same as) : 下のセルと同じ数値を入力します。

Left(same as) : 左のセルと同じ数値を入力します。

Right(same as) : 右のセルと同じ数値を入力します。

3) 対称なデータを作りたい時には、以下のような画像を準備してください。

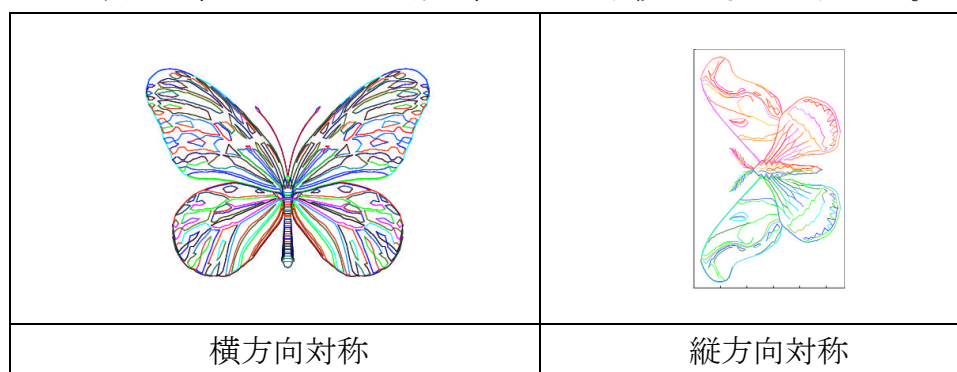
中心は、下側  または、 左側にする。

最初に[Safety]をクリックすると、[horizontal]と[Vertical] が機能するようになります。

[horizontal]か[Vertical]ボタンをクリックするとこのプログラムは終了し、

“H_image.csv”か“V_image.csv”のファイルを作成します。

そのファイルを開いて、MS-Excel を起動し、グラフの手続きを取ってください。



5 注意

このプログラムは、エラー対応処理を作っていません。自分で試してください。

という訳で、私に質問をしないでください。

